需要動向調査

報　告　書

令和５年１２月

香　春　町　商　工　会

目次

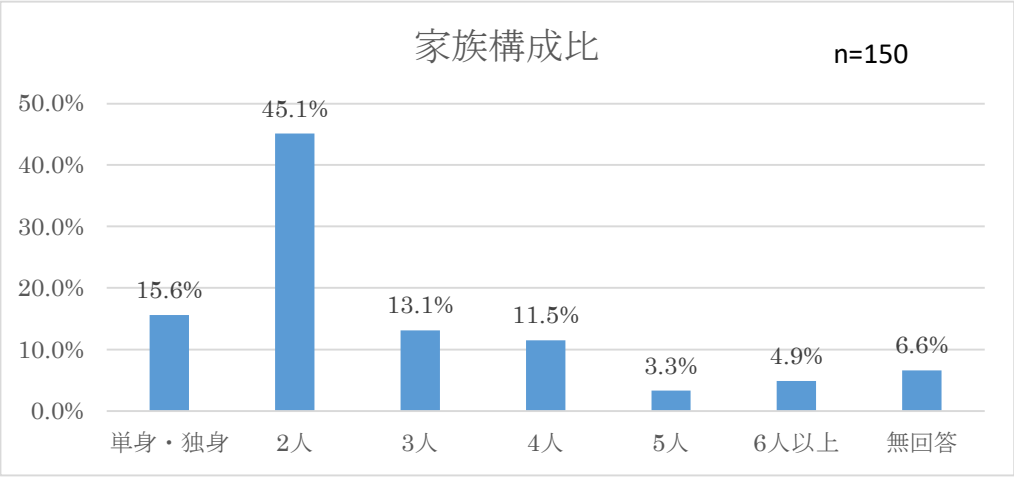
１．プレミアム商品券利用者アンケート調査結果 1

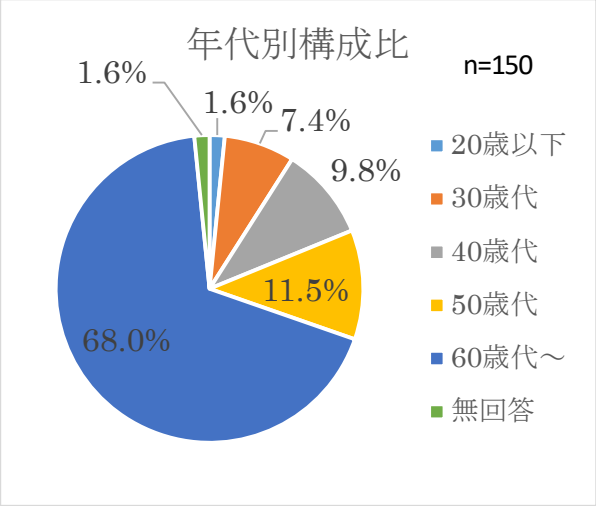
２．プレミアム商品券取扱店アンケート調査結果 3

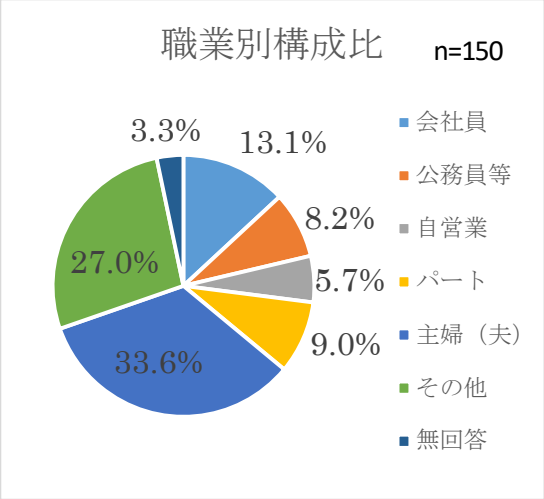
３．町丁字別の需要動向 4

１．プレミアム商品券利用者アンケート調査結果

（１）回答者の属性

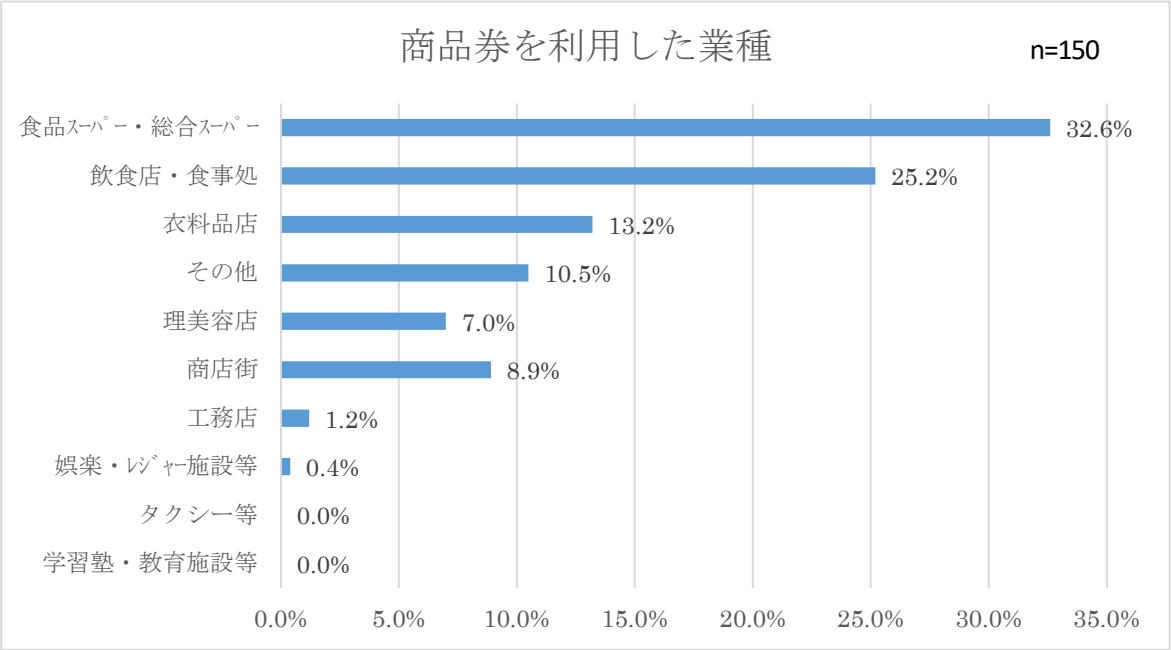






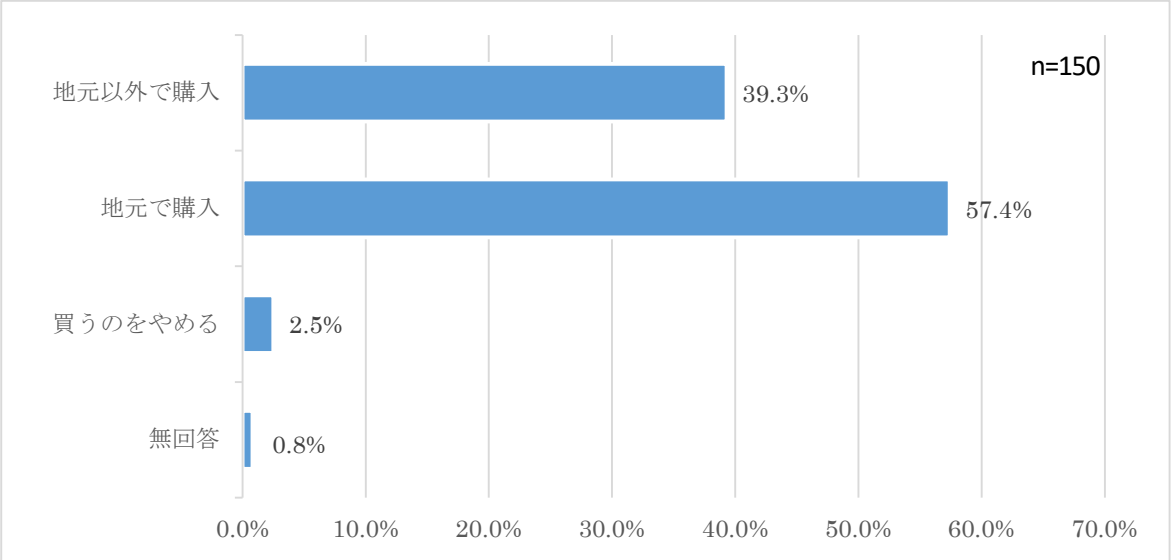
プレミアム商品券の利用者について、単身・独身または２人の世帯が約 70%（前年 50%）を占めていた。また、最も使用割合が高かったのは 60 歳以上で約 68%（前年 54%）であるが、30 歳代の割合が約 7.4%（前年 6.7%）と前年と比較して割合が伸びてきていることから、商品券が地域に定着し購買層の割合が広がったものと推測される。また、購入者の約 3 割（前年 3 割）が主婦という結果であるが、（会社員・公務員）などの購入者も 21.3%あったことから職業別の購入割合も広がった推察される。

（２）プレミアム商品券を利用した業種



昨年と比較して飲食店・食事処での利用が増えているが、食品スーパー・総合スーパーでの利用が約３割と高く業種によって使用頻度にバラつきがある。

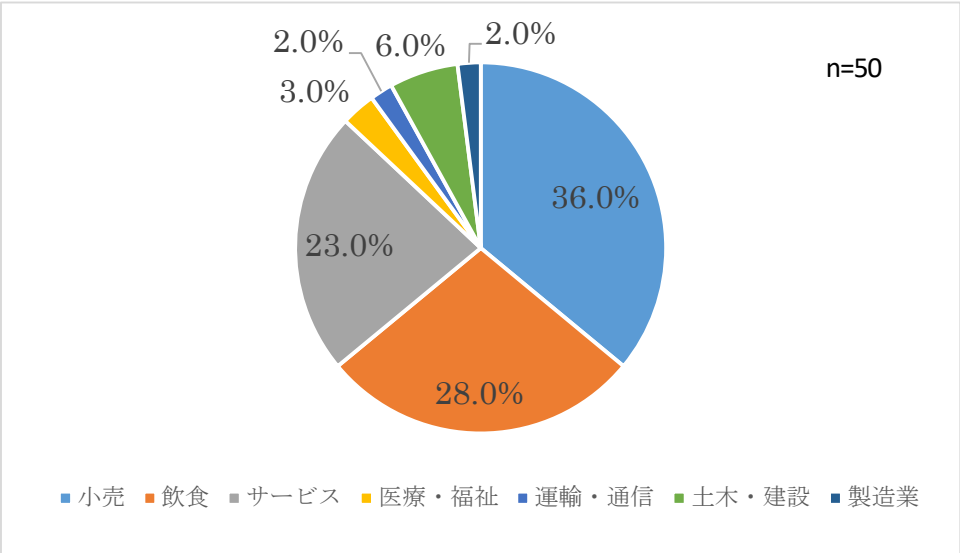
（３）プレミアム商品券がなかった場合の消費行動



商品券がない場合の消費行動として「地元以外で購入する」を回答した人が39%いる事から、今回のプレミアム商品券がなかったら地域外での財貨の流出が懸念される。

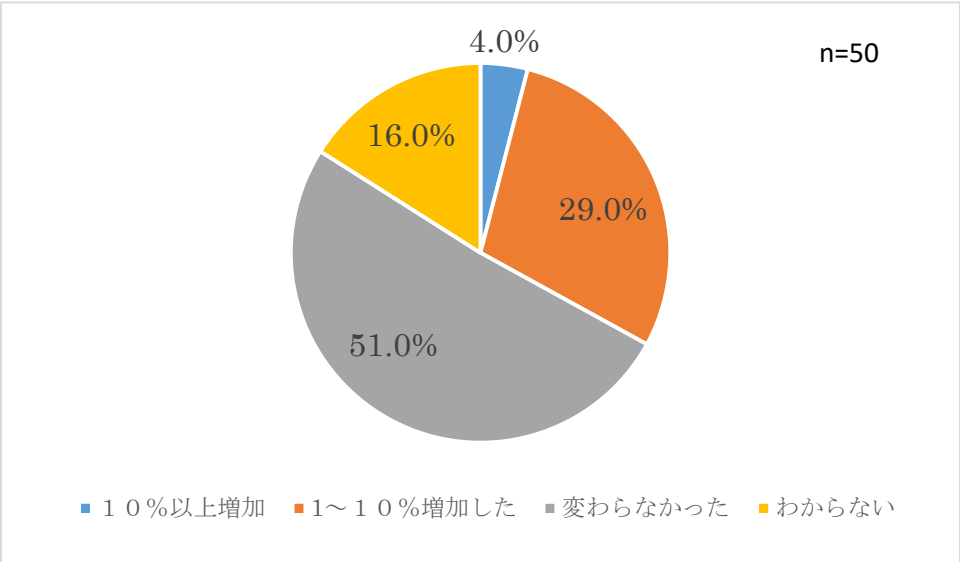
２．プレミアム商品券取扱店アンケート調査結果

（１）取扱店の業種構成



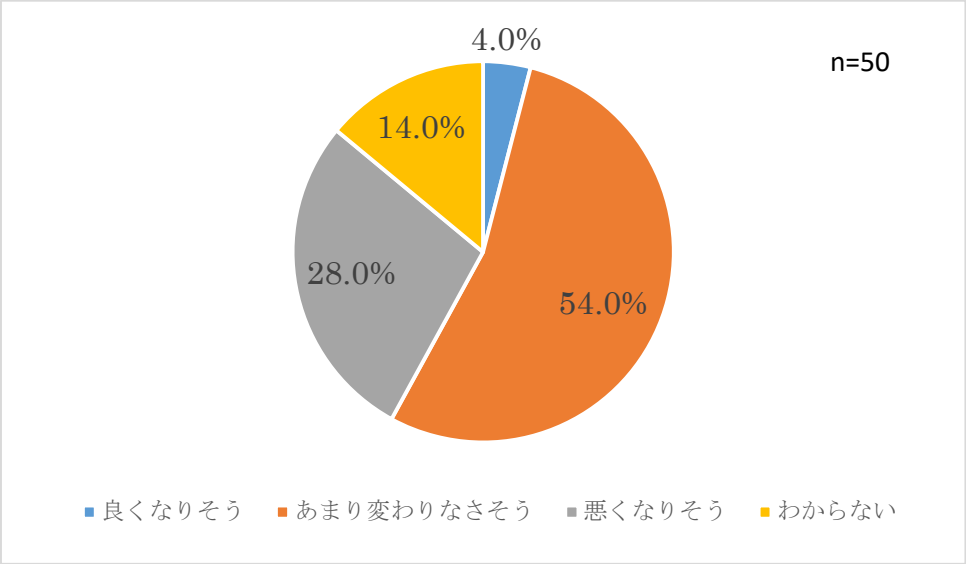
昨年は「飲食業」が 36%であったのが本年は 28%と減少し、代わりに「サービス業」が昨年は 16%であったのが 23%と増加している。「土木・建築業」「製造業」に関してはほぼ例年通りであった。

（２）プレミアム商品券販売前と比較した売上の変化



「売上が 10%以上増加」及び「1～10%増加した」と回答した店舗が全体の 33%あり一定の売上増加の効果となったが、「変わらなかった」及び「わからない」などの効果が実感できていない回答も 67%あった。

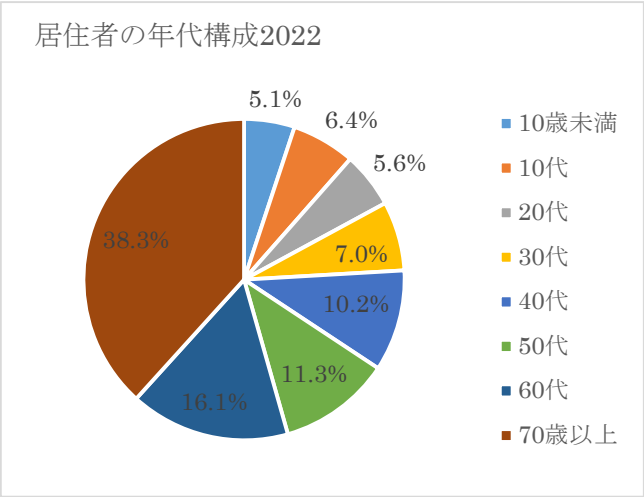
（３）今後の売上の見通し



「あまり変わりなさそう」と回答した事業者が昨年より約 4%減少した一方、「悪くなりそう」と回答した事業者も約 4%と減少している事から、景気が回復傾向にあると考える事業者も一定数いることがわかる。ただし、まだ「良くなる」と回答できる事業者があまりいないこともわかる。

３．町丁字別の需要動向

（１）大字採銅所



香春町全体の指数との比較（採銅所／香春町）
19 歳以下の人口：11.5.0%/14.9%
60 歳未満の人口：45.6%/51.2%
60 歳以上の人口：54.4%/48.4%
70 歳以上の人口：38.3%/32.7%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	48.7	60.69	50.68	38.11	43.30	48.13	48.27
水準判定	＝	＋＋	＝	－－	－	＝	＝

符号の意味:++高水準、+やや高水準、　=平均水準、−やや低水準、−−低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

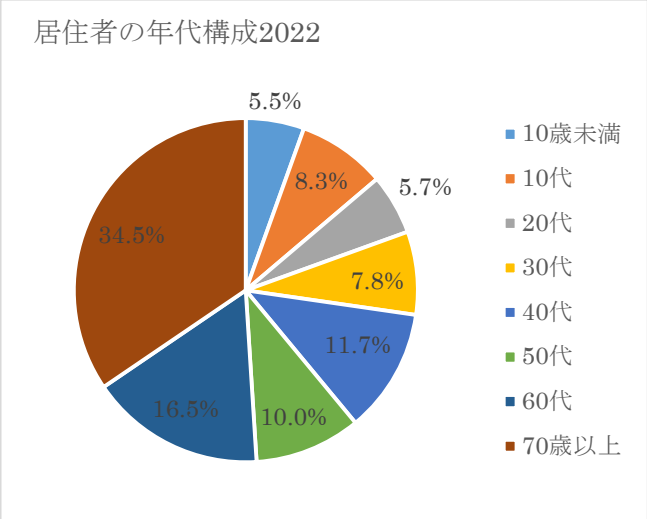
分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	50.10
	果物	50.22
住居費	設備修繕・維持費	50.18
	設備材料	50.12
家具・家事用品	家事サービス	50.09
保健医療関連	医療品	50.06
	健康保持用摂取品	50.28
教養娯楽	切り花	50.32
	園芸用品	50.29
	書籍	50.05

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
被服及び履き物	子供用洋服	48.54
	子供用シャツ・セーター	48.37
保健医療関連	コンタクトレンズ	48.65
教育費		48.72
	教科書・参考書	48.62
	補習教育	48.57
	幼児・小学校補習教育	48.27
	中学校補習教育	48.56
教養娯楽	テレビゲーム機	48.40
	玩具	48.65

【特徴】大字採銅所の消費動向の特徴としては、それぞれの消費支出項目の偏差値に高低が少なく、町内平均に近い状態であるが、「切り花」や「園芸用品」への支出が多く、「教育費」や子供用の「被服」や「教育費」への支出が少ないのは、60 歳以上人口が半数以上を占めていることが要因として考えられる。

（２）大字香春



香春町全体の指数との比較（香春／香春町）

19 歳以下の人口：13.8%/14.9%

60 歳未満の人口：49.0%/51.2%

60 歳以上の人口：51.0%/48.4%

70 歳以上の人口：34.5%/32.7%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	52.24	51.86	52.38	60.09	44.29	49.07	51.65
水準判定	＝	＝	＝	＋＋	－	＝	＝

符号の意味:++高水準、+やや高水準、　=平均水準、−やや低水準、−−低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

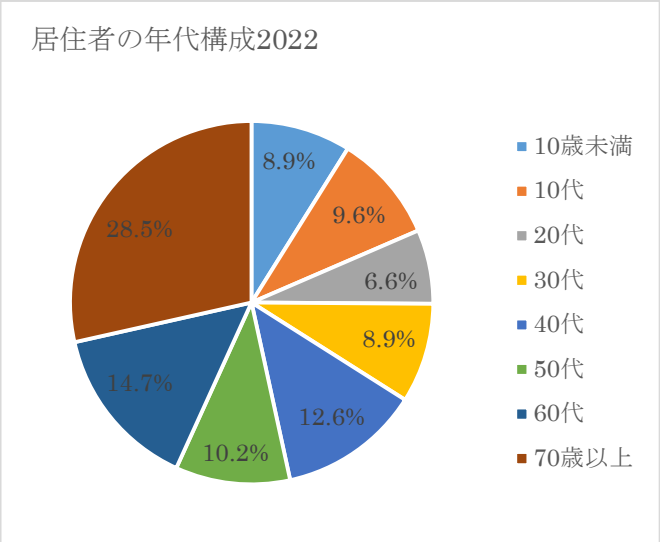
分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	50.98
	果物	51.05
住居費	設備修繕・維持費	51.05
	設備材料	51.02
家具・家事用品	家事サービス	50.97
保健医療関連	医療品	50.93
	健康保持用摂取品	51.06
教養娯楽	切り花	51.12
	園芸用品	51.13
	書籍	50.92

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
住居費	地代家賃	50.01
被服及び履き物	子供用洋服	50.06
	子供用シャツ・セーター	49.97
保健医療関連	コンタクトレンズ	49.83
教育費		49.91
	授業料	49.86
	教科書・参考書	50.06
	補習教育	50.04
	高校補習教育・予備校	49.89
教養娯楽	テレビゲーム機	49.80
	玩具	50.00

【特徴】大字香春の消費動向の特徴としては、全般的に極端に消費支出の偏差が低いものが少ないが、「切り花」や「園芸用品」への支出が多く、「教育費」への支出が少ないのは、60 歳以上人口が半数以上を占めていることが要因として考えられる。

（３）大字高野



香春町全体の指数との比較（高野／香春町）
19 歳以下の人口：18.5%/14.9%
60 歳未満の人口：56.8%/51.2%
60 歳以上の人口：43.2%/48.4%
70 歳以上の人口：28.5%/32.7%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	48.15	41.35	47.19	56.43	61.51	58.47	52.18
水準判定	＝	－－	－	＋	＋＋	＋＋	＝

符号の意味:++高水準、+やや高水準、　=平均水準、−やや低水準、−−低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

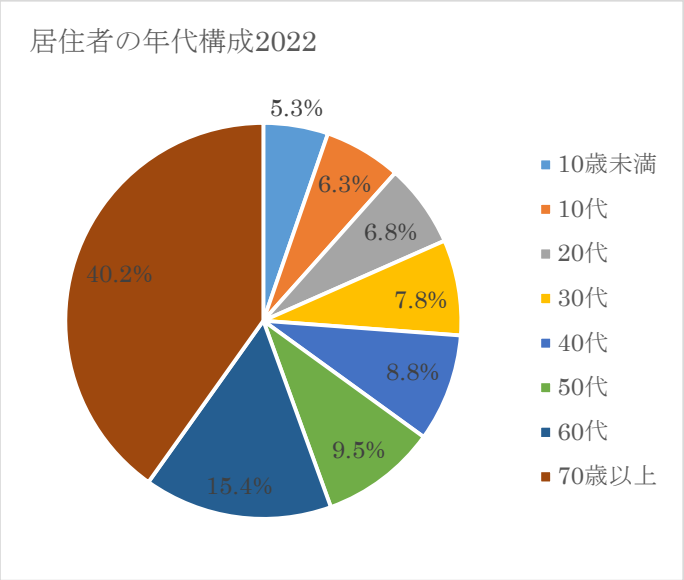
分類	細目	偏差値
被服及び履き物	子供用洋服	48.86
	子供用シャツ・セーター	49.15
保健医療関連	コンタクトレンズ	48.73
教育費		48.91
	授業料等	48.75
	教科書・学習参考教材	49.22
	補習教育	49.39
	幼児・小学校補習教育	49.93
	中学校補習教育	49.47
教養娯楽	テレビゲーム機	49.06

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	46.51
	果物	46.34
住居費	設備修繕・維持費	46.34
	設備材料	46.45
家具・家事用品	家事サービス	46.51
保健医療関連	医療品	46.55
	健康保持用摂取品	46.24
教養娯楽	切り花	46.15
	園芸用品	46.20
	書籍	46.58

【特徴】大字高野の消費動向の特徴としては、全ての分類において町内平均を下回っており、購買力が弱いことがうかがえる。年代構成では 60 歳未満の世代が約 6 割を占めており、支出偏差値の高い分類が子供関連のものとなっている。

（４）大字鏡山



香春町全体の指数との比較（鏡山／香春町）

19 歳以下の人口：11.6%/14.9%

60 歳未満の人口：44.5%/51.2%

60 歳以上の人口：55.6%/48.4%

70 歳以上の人口：40.2%/32.7%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	42.16	57.84	41.19	58.88	42.56	60.89	50.58
水準判定	－	＋	－－	＋＋	－	＋＋	＝

符号の意味:++高水準、+やや高水準、　=平均水準、−やや低水準、−−低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

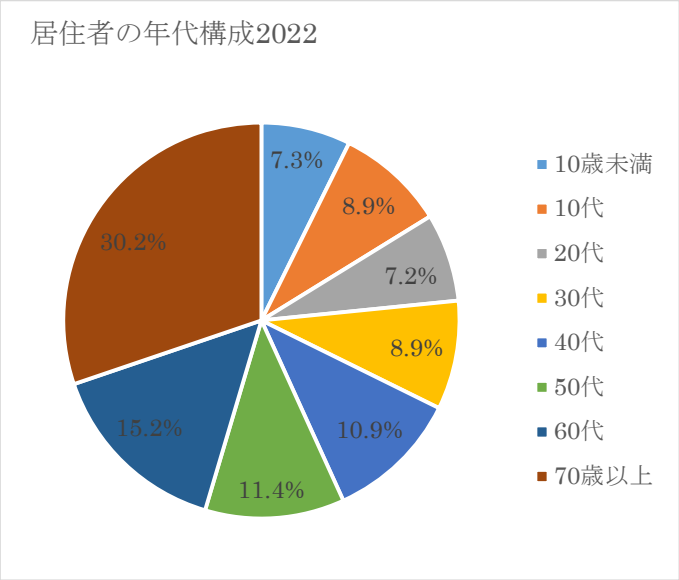
分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	42.14
	果物	42.21
住居費	設備修繕・維持費	42.15
家具・家事用品	家事サービス	42.13
被服及び履き物	生地・糸類	42.12
保健医療関連	医療品	42.12
	健康保持用摂取品	42.23
教養娯楽	切り花	42.23
	園芸用品	42.22
	書籍	42.12

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
保健医療関連	コンタクトレンズ	41.69
教育費		41.29
	授業料	41.34
	教科書・参考書	41.23
	補習教育	41.15
	幼児・小学校補習教育	41.23
	中学校補習教育	41.10
	高校補習教育・予備校	41.16
教養娯楽	運動用具	41.75
	月謝	41.72

【特徴】大字鏡山の消費動向の特徴としては、全体的に町内平均を大きく下回っており。特に購買力が低いことがうかがえる。その要因としては、「教育費」が低いことから若者が少なく、60 歳以上が約半数を占めていることと推察される。しかし、町丁内の「安定」「流入」及び「成長」が高いことから、食料品や生活必需品に関する需要が増加すると考えられる。

（５）大字中津原



香春町全体の指数との比較（中津原／香春町）
19 歳以下の人口：23.4%/14.9%
60 歳未満の人口：54.6%/51.2%
60 歳以上の人口：45.4%/48.4%
70 歳以上の人口：30.2%/32.7%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	68.24	38.34	67.66	45.99	64.10	47.71	55.34
水準判定	++	－－	++	－	++	＝	＋

符号の意味:++高水準、+やや高水準、　=平均水準、−やや低水準、−−低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

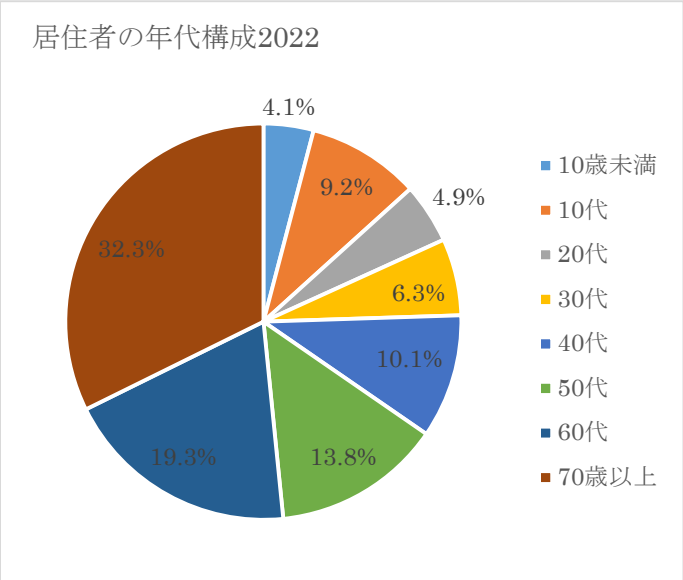
分類	細目	偏差値
住居費	家賃地代	69.10
被服及び履き物	男子用洋服	68.99
	子供用洋服	69.00
	子供用シャツ・セーター	68.99
保健医療関連	コンタクトレンズ	69.08
交通・通信費	交通費	68.99
	自動車	69.00
	自動車関連用品	68.99
教育費	授業料	69.03
	高校補習教育・予備校	68.99
教養娯楽	パーソナルコンピューター	69.02
	パソコン・テレビゲーム機	69.06
	玩具	69.06
	愛玩動物・同用品	68.99
その他	身の回り用品	69.01

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	68.78
	果物	68.74
住居費	設備修繕・維持費	68.76
	設備材料	68.77
家具・家事用品	家事サービス	68.78
保健医療関連	医薬品	68.80
	健康保持用摂取品	68.74
教育費	幼児・小学校補習教育	68.75
教養娯楽	切り花	68.72
	園芸用品	68.72
	書籍	68.80

【特徴】大字中津原の消費動向の特徴としては、消費支出の偏差値が町内平均を大幅に超えている。また消費動向の特徴としては、それぞれの消費支出項目の偏差値は高水準となっている。

（６）大字柿下



香春町全体の指数との比較（柿下／香春町）
19 歳以下の人口：13.3%/14.9%
60 歳未満の人口：48.4%/51.2%
60 歳以上の人口：51.6%/48.4%
70 歳以上の人口：32.3%/32.7%

分野別水準判定

分野	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
偏差値	40.51	49.93	40.88	40.50	44.27	35.74	41.97
水準判定	－－	=	－－	－－	－	－－	－

符号の意味:++高水準、+やや高水準、　=平均水準、-やや低水準、－－低水準

消費支出の偏差値が高い分類、細目

分類	細目	偏差値
被服及び履き物	和服	41.88
保健医療関連	コンタクトレンズ	42.02
交通・通信費	自動車	41.88
教育費		42.19
	授業料	42.26
	教科書・参考書	41.99
	補習教育	42.00
	中学校補習教育	41.96
	高校補習教育・予備校	42.35
教養娯楽	愛玩動物・同用品	41.88

消費支出の偏差値が低い分類、細目

分類	細目	偏差値
食料品	魚介類	41.50
	野菜・海藻	41.52
	果物	41.44
住居費	設備修繕・維持費	41.52
家具・家事用品	家事サービス	41.51
被服及び履き物	生地・糸類	41.52
保健医療関連	健康保持用摂取品	41.45
教養娯楽	切り花	41.46
	園芸用品	41.43
	書籍	41.52

【特徴】大字柿下の消費動向の特徴としては、全ての分類において町内平均を下回っており、購買力が弱いことがうかがえる。60 歳未満の年代が約半数であることを反映して「教育費」など、子供関連の支出が上位を占める反面、「食料品」や「住居費」などの支出が低くなっている。

【まとめ】町内６地域のうち消費購買力の高い地域が１つ（大字中津原）、町内平均が２つ（大字採銅所・大字香春）、平均以下が３つ（大字高野・大字鏡山・大字柿下）となっており、分野別水準判定の「富裕」の偏差値がそのまま購買力に現れている。

＜参考レポート＞　市場情報評価ナビ　MieNa　商圏レポート（マーケット分析編）

需要動向調査

報　告　書

令和５年12月

香　春　町　商　工　会

福岡県田川郡香春町大字香春751番地

電話　0947-32-2070

FAX　0947-32-7397